

地理基礎ワークシート (秋学期中間考査) No. (現地化ふり返り)

() 月 () 日 ()
4年 () 組 番号 () 氏名 ()

主 題	[グローバル化]現地化(ローカル化)
ねらい	南アジアとサブサハラの類似性や対照性を活かし、グループで協力して現地化する。 南アジアとサブサハラの比較をふり返り、学んだことの意味に気付く。

④これからの日本と南アジア・サブサハラ諸国の関係について、これまでの学習を参考に100字程度でまとめなさい。

→ 現地化は、かなりその土地やその国の情報や状況に
かた知らなくてはできない。実際に現地でもっとも
どこからか意味を持っているかということも考えなければ
物だも売れず、こたからだと流行せずには終わってしまうもの
だとも思いました。でも難しいからこそ本当にその土地に合った
ものだと必要とされたり流行するのはないかと思いました。
自分たちの利益だけを考えるのではなく現地の人にとけ込
められるかというところを大事にしているものだと
思いました。

→ 各々の国の情勢や気候、習慣、文化、宗教などを
学び、思いやりのある、現地の人たちにとり安全で使いやす
いものを作るのが大切だと思ふ。短く高くと、薬を持て
お互いの国へのことを考えるのが現地化だと思ふ。
現地化する上で、さる側への一方的なものではなく、
両者にとりいいと思ふことを精一杯いかにする
大切だと思ふ。私たちが授業の中で十分に現地のこと
理解することではおらず、現状をよりよく提案する
ための改善、自分たちが開拓する
影響が与える評価 (A・B・C)
ふり返り ようなことを考えるのが大切だと思ふ。

→ 現地化、というワードの中で、一番大切なのは
その土地に現地の人の気持ちに合った考えを
つなぐ思いやりを大切に考える。もちろん、現地のことを
考えたいものか人気になる訳ではないから。現地の
人々を思いやる上で最も重要なことは、日本(思いやり側)
が、思いやりを傾ける側に対して自身の当たり前を、押しつけて
いることにある。何故なら、自身の当たり前は、いつも相手の
当たり前だと思ふのは間違いないからである。
現地化する上で入念な現地調査が必要不可欠である。

→ 国のことを知り、想像をふくらませてその
国で使うと便利になるかを考えを具現化していくこと。現地化
しているかどうか確かめるためにその国に行けるわけでもない
と頭の中をリサーチを出していくことが大切だと思ふ。また、
気候や状況が似ている場所を実際に便利だと思
われているものをヒントに考えるのも視野を広げられて
現地化に対してできるのでは無いかと思ふ。一番は、他人
事だと思わずにどれだけ思いやりを持っていかないと
だと思ふ。

→ 自国のものを他国に取入れたいする心はあ
るが、安易に現地化するのではなく、実用性や
需要を考へることが大切だと思ふ。他にも、気候
や地形、言語や宗教に合わせた考へることも
大切だ。一番大切なのは、現地の人に受け
入れられるか、その相手国を思いやることだ。
受け入れられるか、相手のことを考へることが
現地化だと思ふ。

→ これらの商品を開発する上で現地化に
なると、その土地に合わせた性格や
文化の違い、そこで発生している問題や
文化の違い、その土地の精神面での
現地化も考へる必要がある。

→ 自産自銷のローカルな商品を開発する
のではなく、その土地に合った商品を作る
こと。その土地に合った商品を作ることは
現地化だと思ふ。

→ 自国の商品を他国に取入れたいする心はあ
るが、安易に現地化するのではなく、実用性や
需要を考へることが大切だと思ふ。他にも、気候
や地形、言語や宗教に合わせた考へることも
大切だ。一番大切なのは、現地の人に受け
入れられるか、その相手国を思いやることだ。
受け入れられるか、相手のことを考へることが
現地化だと思ふ。

→ まず、相手の国のことを明確に知ることだと思ふ。
金銭的なこと、気候的なこと、もちろん、それだけ
でなく、私生活での、運転時のルールであったり、その状況
をもとに把握しておく必要があると思ふ。日本の価値観
をもとに商品を作ると、必ず、現地に合わない部分か
出てくるので、相手の考えをもとに、作ること大切だと思ふ。
一番大切なのは、現地で生活することだと思ふ。
また、私生活での現地化、相手の価値観や、状況
を把握して、その生活に合わせた改善することだと思ふ。

ご参加いただきありがとうございます。また、貴重なご意見をいただきありがとうございます。

本時は現地化（商品開発）のプレゼンテーションを本物のオーディエンスに評価され、その評価をふり返り、共有する過程を通して、現地化そのものに対する自分の考えを表現する授業でした。

社会的な見方・考え方や主体的に学びに向かう力・人間性など授業で具現化しにくく、また、評価しにくい部分を授業化し、評価の対象としたつもりです。

現地化はコストの視点を持っているうちは、本当の現地化にはならないのではないかと考えています。地理という科目を学習することで、日本を含めた地球全体に関心を深め、実際に身近な地域を離れた場所で生活してみようと思えて初めて、本当の現地化に近づくはずで。しかし、現実的には誰もが身近な地域を離れて生活することができるわけではありませんので、頭の中でのリアリティに少しでも地理の学習が貢献する必要があると思います。そうすることで、住んでみて、生活してみて、「自分にとって」本当に必要な現地化を構想できるようになると思いました。

地理を学習することとグローバル(化)の概念をつなぐ学習としての教材として現地化を選んでみました。この現地化の単元を踏まえ、グローバル(化)の単元の2つ目として、日本はどの地域と地域共同体をつくれれば良いのかという主題に取り組みます。どのような地域共同体が生まれるのか楽しみです。

また、ご意見などいただけると助かります。今後ともよろしくお願ひいたします。